

各 位

News Release

「公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団」

令和4年度

地域の伝統文化分野 助成対象先を決定

公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団（1991年6月設立・理事長関口憲一）では、地域の伝統文化（民俗芸能および民俗技術）の継承、特に後継者の育成を支援するため、昨年10月から令和4年度『地域の伝統文化保存維持費用助成』制度の助成対象候補を公募してまいりました。このたび応募77件の選考を終えて45件の助成対象を決定し、助成金目録の贈呈を行なうこととなりましたので、ここにお知らせいたします。

なお、本年度の決定を含めた本制度による助成件数の累計は、当財団設立以来1,352件になります。

【お問い合わせ先】

公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団

〒163-0633

東京都新宿区西新宿1-25-1

新宿センタービル33階

TEL. 03-3349-6194

FAX. 03-3345-6388

記

1. 公募方法と公募期間

都道府県の教育委員会または知事部局の担当課を推薦窓口とする要推薦制度の公募を、令和3年10月から令和4年1月31日まで行い、77件の申込を受付けた。

2. 助成対象

- (1) 地域の民俗芸能（民俗行事・民俗音楽を含む）の継承、特に後継者育成のための助成。
- (2) 地域の民俗技術（伝統的製作技術・衣食住に関わる生活技術・伝統工芸を含む）の継承、特に後継者育成のための助成。

3. 助成対象者の決定

選考委員会における選考審査（2月22日）を経た後、理事会の承認を得て決定。

【伝統文化分野選考委員】（敬称略）

委員長	小島美子	国立歴史民俗博物館名誉教授
委員	神野善治	武蔵野美術大学名誉教授
〃	田中宣一	成城大学名誉教授
〃	田村善次郎	武蔵野美術大学名誉教授
〃	西角井正大	国立劇場おきなわ運営財団理事
〃	星野紘	全日本郷土芸能協会理事長
〃	渡辺行信	当財団評議員

4. 助成決定件数・助成金額

(1) 令和4年度 部門区分別 助成決定件数・金額

部門	申込件数	決定件数	助成金額
民俗芸能	73件	43件	1,820万円
民俗技術	4件	2件	80万円
合計	77件	45件	1,900万円

(注) 都道府県別の助成対象および金額等は、3頁～7頁(民俗芸能の部および民俗技術の部)をご参照願います。

(2) [ご参考] 助成件数・金額の推移(金額単位:万円)

年度	民俗芸能		民俗技術		合 計	
	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額
平成3年	24	1,717	5	229	29	1,946
4年	29	1,960	5	190	34	2,150
5年	30	1,958	5	200	35	2,158
6年	34	2,060	6	240	40	2,300
7年	38	2,310	5	190	43	2,500
8年	41	2,550	6	250	47	2,800
9年	41	2,670	6	230	47	2,900
10年	43	2,800	4	140	47	2,940
11年	44	2,845	4	155	48	3,000
12年	43	2,740	6	260	49	3,000
13年	42	2,740	8	260	50	3,000
14年	38	2,590	10	410	48	3,000
15年	33	1,590	2	60	35	1,650
16年	31	1,525	5	125	36	1,650
17年	37	1,650	0	0	37	1,650
18年	35	1,666	2	80	37	1,746
19年	37	1,780	2	70	39	1,850
20年	39	1,810	1	40	40	1,850
21年	38	1,740	4	110	42	1,850
22年	39	1,735	3	115	42	1,850
23年	41	1,814	1	36	42	1,850
24年	48	2,122	6	185	54	2,307
25年	40	1,775	2	75	42	1,850
26年	41	1,802	3	98	44	1,900
27年	40	1,746	4	104	44	1,850
28年	41	1,800	2	50	43	1,850
29年	42	1,811	1	39	43	1,850
30年	41	1,775	2	75	43	1,850
令和元年	39	1,736	3	114	42	1,850
2年	39	1,740	3	110	42	1,850
3年	42	1,813	1	37	43	1,850
4年	43	1,820	2	80	45	1,900
合計	1,233	64,190	119	4,357	1,352	68,547

5. 助成金目録の贈呈

第一次推薦者(市町村教育委員会等)の庁舎、もしくは最寄りの明治安田生命支社において贈呈式をおこなう予定。

令和4年度 地域の伝統文化 助成対象

(敬称略)

1. 民俗芸能の部 (民俗行事・民俗音楽を含む)

43件 1,820万円

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
北海道	ツキヲシマ体ゾンカイ 月浦獅子舞保存会	40	入植10年後のM33年、神社建立を機に丸亀から用具類祭購入し、三豊郡神田村の獅子舞を伝えた。月浦八幡神社秋祭に絶えることなく奉納。子供3人の舞子と2人による雌獅子1頭が地を這うように演舞する。
	月浦獅子舞		衣装整備費の一部として
岩手県	エサカガラ体ゾンカイ 江刺家神楽保存会	40	約480年前に九戸村江刺家に落延びた神楽人が付近の山伏達に伝えたのが創始。その後地域住民が新山神社に奉納。一時衰退、S58年保存会結成し復活。以前の26演目復活が目標。山伏神楽三源流の一つ。
	江刺家神楽		道具購入費の一部として
宮城県	ナカマカガラ体ゾンカイ 中浜神楽保存会	50	戦国末期建立の中浜天神社に奉納されてきた出雲流獅子神楽。震災で装束・神楽面等道具類を全て流失。会員が手作りで神楽面・衣装等を修復中。H25年坂元小で坂元神楽保存会と協議し「子ども神楽」を開始。
	出雲流獅子神楽		衣装・道具購入費の一部として
宮城県	サマシホト・リテンショウカイ 佐沼鹿踊伝承会	50	江戸初期に旧佐沼郷の鹿踊り四組が毎年交代で佐沼城に奉納したのが創始。鹿頭を被り腹に太鼓、背にササ姿で、太鼓を叩き念仏調の歌を歌い激しく踊る。一時中断、H10年復活。各種行事で年間20回以上披露。
	佐沼鹿踊		大口袴購入費の一部として
秋田県	シンサワハチマンジ・ンジ・ヤシマイコウ 新沢八幡神社獅子舞講	55	織豊期創始とされる獅子舞番楽。新沢八幡神社秋祭に集落を巡り災厄を祓う神舞を行う。鳥海山周辺の本海流に属し修験系の講中が6演目継承。H29年篠笛を、R元年それに合う「幕揃」を30数年ぶりに復活。
	獅子舞番楽		道具購入費の一部として
山形県	ナカヤマチカワムカイコンビ・ララルナガシホラ 中山町川向金比羅樽流し保存会	25	大正初期実施記録がある流し樽行事。水難防止・交通安全を祈願し、酒入りの「金比羅樽」を最上川に流す。県内各地で行われたが現在は中山町のみで、全国的にも稀有。H25年保存会結成し継承。
	金比羅樽流し		備品購入費として
福島県	ヨコサワハヤマツリホソカイ 横沢の麓山まつり保存会	70	平安初期の大凶作を機に始まった麓山神社秋祭。南東北に多いハマ信仰で山に豊作を祈る。神迎え・水ごり・火渡り・胴あげ・おこもり・山がけ・神送りの形態を市内で唯一継承。
	横沢の麓山まつり		道具整備費の一部として
茨城県	ヒタキョウトゲイノウホソカイ 日立郷土芸能保存会	50	江戸前期から日立地方に伝わる一人立ち三匹獅子舞。市内7地区の鎮守例祭奉納の他、日立さくらまつり等で公開。さらには獅子3頭・しゃぐま・笛で構成し3演目を摺る。渡り笛の翳々とした調べが情緒を醸し出す。
	日立のささら		道具購入費の一部として
栃木県	サンボウキシマ体ゾンカイ 三本木獅子舞保存会	50	西大芦村の関白流獅子舞から伝わった獅子舞。三本木延命地藏尊春祭に奉納。一時中断した際に伝染病に襲われ奉納再開。土用前後の「虫干し」で集落を巡る。獅子が唄いながら舞うのは稀有。
	三本木の獅子舞		太鼓・笛購入費の一部として
群馬県	ヤマガラタダイカガラ体ゾンカイ 八幡原太々神楽保存会	40	T12年創始の若宮八幡宮春秋祭に奉納する八幡原太々神楽。S40年代に中断、H5年復活、保存会結成し継承。舞は36座伝承され、現在は式舞・愛嬌舞で構成される15～20座が上演可能。
	大和舞太々里神楽		神楽面修理費の一部として
埼玉県	ノミヤシマ体ゾンカイ 野々宮獅子舞保存会	40	江戸前期創始の三匹獅子舞。野々宮神社春秋祭に五穀豊穡を祈願し奉納。4演目継承。雌獅子を巡り2頭の雄獅子が蛇を呑む「笹掛り」と、雄獅子が花を持ち雌獅子を誘う「花すい」は他にはない独特の演目。
	野々宮神社の獅子舞		獅子舞太鼓購入費の一部として

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
千葉県	アイノヤツキョウトガイノウホゾノカイ 相野谷郷土芸能保存会	50	太鼓の裏書等から明治期創始とされる祭囃子。相野谷八幡神社秋祭に五穀豊穡を感謝し奉納。笛・鐘・締太鼓・大太鼓で「ぶつけ」と呼ばれるお囃子を演奏。神事後には神輿を担ぎ区内を練歩く。
	相野谷八幡神社の祭囃子		締太鼓皮張替修理費の一部として
東京都	ヨギバヤシホゾノカイ 代々木囃子保存会	25	江戸末期に代々木八幡の神官が農民に伝えた目黒系囃子。以来八幡宮の祭礼に奉納。戦時中中断、S21年復活。大太鼓・締太鼓・笛・平鉦に合わせ獅子舞や白狐等の舞を披露。鎌倉期成立の5演目を継承。
	代々木囃子		長胴・桶胴太鼓補修費の一部として
神奈川県	カベツショコトブキシマイホゾノカイ 曾我別所寿獅子舞保存会	30	江戸中期創始の一人立ち獅子舞。無病息災・悪魔払い・豊年を祈り宗我神社秋祭に奉納。一時中断、S21年復活。獅子と笑い面・ヒョットコ面・大小太鼓・横笛・摺鉦・拍子木で構成し、愉快な中にも品位がある舞。
	曾我の獅子舞		衣装購入費の一部として
神奈川県	オヤハヤシレン 大谷はやし連	30	江戸期創始とされる祭囃子。歌舞伎・舞踏とともに大谷芸能保存会を構成。小太鼓4・大太鼓1・篠笛・摺鉦で構成し、基本の5演目は熟練を要する叩き方で、新囃子系に属する。県南部の田村囃子との関連が窺われる。
	祭囃子		道具整備費の一部として
新潟県	アカクラカガラホゾノカイ 赤倉神楽保存会	30	江戸初期に完成したとされる四津谷流里神楽。庭舞・剣の舞・岩戸舞・面神楽4種を拍子を含め全て、幕間の端踊り・狂言も多く継承。一時衰退、S41年保存会結成。赤倉十二社奉納の他TV、県内外に多く出演。
	赤倉神楽		衣装道具購入費の一部として
富山県	ヒロノジノカイ 広野自治会	30	明治中期に伝わった獅子舞。香積廣野神社秋祭に五穀豊穡を願い12演目を奉納。氷見系の百足獅子、舞が大人しいことから雌獅子といわれる。10～15年に一度獅子殺しを行う。町内5地区の伝承元。
	広野の獅子舞		道具購入費の一部として
山梨県	ヨネクラニギョウハノホゾノカイ 米倉人形芝居保存会	70	江戸中期発祥という米倉人形三番叟。M42年で途絶え、旧八代町の支援を受けH2年80年ぶりに復活。江戸期の人形3体と44体の頭を継承。新調した3体の人形により、鉾衝神社秋祭に三番叟を奉納。
	米倉人形三番叟		人形等補修費の一部として
長野県	シモコマサワウジコホゾノカイ 下駒沢氏子保存会	20	M13年創建の伊勢社の春秋祭に始祖は権堂町にある神楽・獅子舞・お囃子を代々奉納。遊郭の名残が屋台の提灯、舞妓・芸子の雅楽が残るお囃子に残る。「底抜け屋台」を曳き回すのは当地区のみ。
	神楽獅子舞		道具整備費の一部として
長野県	ハバシマイホゾノカイ 羽場獅子舞保存会	50	M41年から元山白山神社春祭で獅子舞を奉納。南信州に多い屋台囃子で大島山瑠璃寺系。「権現堂の獅子」として慕われ、町内を巡回。高校生以上の研修部に加え未就学児～中3までの育成部があるのが特徴。
	羽場獅子舞		道具購入費の一部として
愛知県	ムカイヤマカガヲシホゾノカイ 向山区神楽獅子保存会	25	江戸初期の名古屋城築城時の台車の露払いが創始とされる獅子舞。市杵嶋神社の年7回の神事で神輿を安置した前で3種の舞を奉納。乙川八幡社山車祭りの露払い・御遷宮・雨乞行事でも行う。「とびつき太鼓」も稀有。
	向山神楽獅子		獅子頭購入費の一部として
愛知県	オリアサヒアライイカウマノウホゾノカイ 尾張旭市新居地区馬の塔保存会	40	江戸期創始の献場行事。「標具」で飾った馬を一日寺社へ奉納し、豊作お礼・雨乞をした。厄年の男性・馬頭・口取り・綱付きが付添う。新居地区では多度神社秋祭に西組・東組各1頭ずつ献上。棒の手隊・鉄砲隊を伴う。
	尾張旭市の馬の塔		半纏購入費として
愛知県	アスカヤマチオハヤシホゾノカイ 足助宮町お囃子保存会	50	戦前から行われる足助春まつりで他の6町とともに屋台を曳行。低層の床の御座むしろに女子小中学生が座り、太鼓・鼓・鉦・笛等で曲を奏で歌う。桜や藤等で飾られた「花車」は華やかな女の子の祭りに相応しい。
	足助春まつりのお囃子		太鼓整備費の一部として

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
滋賀県	オアヲヒゴジノジヤツコフリホゾノカイ 大荒比古神社奴振り保存会	40	七川祭は佐々木高信が鎌倉前期に戦勝祈願し、12頭の流鏝馬と12基の的を大荒比古神社に奉納し始まった。8集落が輪番で奉納する「奴振り」は的を持つ「的練り」と酒樽を担ぐ「樽練り」から成る。馬駆け・流鏝馬・神輿渡御も行う。
	大荒比古神社七月祭の奴振り		奴振り衣装購入費の一部として
京都府	タイジチカイ 平自治会	50	江戸中期から平八幡神社秋祭に中田区(獅子神楽)・赤野区(三番叟)とともに振物を奉納。二人一組で刀や棒で切組みを演じる組太刀型。幼児～最年長者が大小太鼓と笛に合わせ7演目を披露。
	平八幡神社振物、神楽、三番叟		長胴太鼓皮張替費の一部として
兵庫県	ホミンジホゾノカイ お弓神事保存会	15	鎌倉前期創始のお弓神事。五穀豊穰・破邪顕正を祈願し淡河八幡神社で毎年2月17日に奉納。射手4人が鬼を封じ込めた的を狙い16本の矢を放つ。中学生等による三十六人大的射が続く。本年が800年の節目。
	淡河神社のお弓神事		道具(弓・矢・手掛)購入費の一部として
和歌山県	ケホノドリホゾノカイ 戯瓢踊保存会	30	江戸初期から小竹八幡神社秋祭「御坊祭」に奉納され、9氏子組の先頭で、長さ三尺の天然の大奇瓢・太鼓・鼓・鉦・小瓢を持ち花笠を被り踊る戯瓢踊。冒頭で紀州公下賜の四恩状を読上げる。一時中断、S41年復活。
	戯瓢踊		瓢箪の修復費として
島根県	タノカグラダン 宅野神楽団	60	江戸中期に創始された子供神楽を幕末に当地出身の宮司が奥飯石郡神楽を導入。S52年14地区の神楽を統一し保存会結成。伊勢系太神楽や歌舞伎の影響を受けた獅子舞、三番叟を有し、北前船寄港地の特徴。
	宅野子ども神楽		肩切・玉貫購入費の一部として
広島県	ツカグラダン 津田神楽団	60	江戸後期創始の安芸十二神祇神楽。津田八幡神社秋祭の「ヨロ行事」で舞う。テンポが速い12演目を継承、周防山代地方の特徴も持つ。大正期以降度々衰退、S52年再復活。県内では少ない旧来の五調子舞を継承。
	津田神楽		長胴太鼓購入費の一部として
山口県	キカウチカグラマイホゾノカイ 北河内神楽舞保存会	50	江戸前期の大火災後に始まった岩戸の舞。明治期に近隣の木間地区から皇子の舞を取入れ、厄除け祈願・五穀豊穰を秋祭に祈願。神事的要素と娯楽的要素が混在する神楽は希少性が高い。
	北河内神楽舞		道具・衣装購入費の一部として
山口県	シメツヨウダイカグラホゾノカイ 下津令大神楽保存会	50	江戸期から約250年間、繁枝神社秋祭に奉納する大神楽。祭前日の順舞は地神様と地区内の慶事がある家の前で舞う。勇壮な舞の中でも子供が上に立つ肩立の舞(継ぎ獅子)が観客に喜ばれる。
	下津令太神楽舞		獅子頭購入費の一部として
徳島県	ヒメダシマホゾノカイ 姫田獅子舞保存会	35	吉野川下流域に盛んな獅子舞の一つ。一時休止、S51年復活。二人立ち・二頭立て獅子が大太鼓2・小太鼓2・拍子木・手拍子に合わせ激しく踊る。6演目を一人で舞うため市内他団体よりテンポが速いのが特徴。
	姫田の獅子舞		道具購入費の一部として
徳島県	カキシマホゾノカイ 榎木獅子舞保存会	35	鳴門市内で獅子舞を継承する12団体の一つ。戦後休止、S64年復活。二人立ち・二頭立て・大太鼓2・小太鼓2で8演目から構成。節目で中を交替して舞う。地元二社の秋祭に奉納。年間5、6回イベントでも披露。
	榎木の獅子舞		道具購入費の一部として
香川県	ニテイエヌビオーホウジンウツカブキ 認定NPO法人農村歌舞伎祇園座保存会	45	江戸後期に藍染出稼者が阿波から持帰った農村歌舞伎。地元氏神祭礼に奉納。歌舞伎一座として発展。H19年保存会結成し歌舞伎小屋公演が復活。時代物・世話物中心に上演。座長不在で自ら演技・演出。
	祇園座(農村歌舞伎)		太棹三味線購入費の一部として
愛媛県	ウシホゾノカイ 牛鬼保存会	30	江戸中期から南予地域に広く伝わる練物「牛鬼」。吉田秋祭の神幸行事で神輿渡御の先導を務め悪魔祓いを行う。祭礼絵巻そのままの形態を伝承している点は希少。氏子主体の祭礼組織や大名祭の形態も維持。
	三浦天満神社祭礼の練り(牛鬼)		牛鬼胴体製作資材費の一部として

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
高知県	オガキチオトリホソノカイ 尾崎太刀踊り保存会	50	江戸後期に河内から伝わった太刀踊り。拍子木と音頭に合せ、大太刀・小太刀が対峙し流麗な刀捌きで5幕10種目を勇壮に舞う。S37年中断、H14年保存会結成し復活。室戸市各集落に伝承する太刀踊りの元祖。
	尾崎の太刀踊り		道具購入費の一部として
福岡県	タケノハヤシホソノカイ 竹の曲保存会	50	大宰府天満宮の神幸祭・秋思祭に奉納する竹の曲(道楽・ささらの舞・扇の舞等の総称)。職能集団の頭「六座」が代々継承し、その子孫が保存会結成。ささら・締太鼓・横笛などで稚児・大人10人が奏楽・謡・仕舞を行う。
	竹の曲		太鼓購入費の一部として
福岡県	エノカミジンジャフウユホソノカイ 江上神社風流保存会	50	江戸初期に国主田中吉政が有明海の汐止工事の難行に際し鉦と太鼓を打慣らし鼓舞したのが創始。五穀豊穡・地域安寧を願い江上神社秋祭に奉納。S53年途絶えH23年復活。柳川市内8風流の一つ。
	江上神社風流		道具整備費の一部として
佐賀県	オキカクジチカイ 沖永区自治会	20	江戸期から伝わる沖永の浮立。秋の彼岸に橘町内12地区が順番に潮見神社に1週間かけて皮浮立と鉦浮立を奉納(彼岸登)する点は近隣と一線を画す。華美ではなく緩急のある軽妙なテンポの演奏が特徴。
	沖永の浮立		太鼓補修費の一部として
長崎県	カサモトマツリハヤシホソノカイ 風本祭り囃子保存会	50	江戸中期に鯨組で財を成した土肥家が京都から囃子を取入れ、聖母宮と印鑰神社例祭に奉納したのが起源。町内・海上を行脚する神輿のお供で15人が太鼓・笛・鉦・鼓を奏でながら奥ゆかしく風情豊かに練歩く。
	風本祭り囃子		道具新調費の一部として
熊本県	キクチシモイデタク、ウエコガク 菊池市下出田区、植古閑区	40	古くから若宮神社秋祭に五穀豊穡・無病息災を祈り奉納してきた獅子舞。拍子木と掛声に導かれ、笛・太鼓の伴奏で青・赤2頭の獅子が格調高く舞い進む。4つの座組が持回りで開催。古形を崩すことなく継承。
	出田の獅子舞		太鼓皮張替費の一部として
熊本県	イチハラマジチカイ(イチハラシマイホソノカイ) 市原町自治会(市原獅子舞保存会)	50	江戸中期に飢饉・疫病除けの祇園社を建て獅子舞を奉納したのが起源。毎年梅雨明けの7月22日の前夜祭、23日の本祭で、獅子2頭が笛・太鼓に合わせ荒々しく舞う。ルーツは京都祇園社・松尾社にある。
	市原祇園社獅子舞		和太鼓修理費の一部として
宮崎県	アヤチョウトウジンオトリホソノカイ 綾町唐人踊り保存会	50	約400年前の江戸後期に琉球王が島津公に貢物献上の際、滑稽な衣装で臨み海賊除けを願ったのが起源。島津公の弓道場があった宮原地区の明見神社秋祭に毎年奉納。九州地区で唯一の特徴を持つ唐人踊り。
	唐人踊り		道具・衣装購入費の一部として

2. 民俗技術の部（伝統的製作技術・衣食住に関わる生活技術・伝統工芸を含む） 2件 80万円

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人		助成目的
	民俗文化財の名称		
岡山県	サクシュカスリホゾンカイ 作州絣保存会	40	明治期に倉吉絣の技法を取入れ製造を開始。昭和中期をピークに急速に衰退。復活⇒中断後H24年保存会結成。津山市内で講座を開講し10年間で45人が受講し、その中から「作州絣製造者」7人を輩出した。
	手織作州絣製作技術		折り畳み式機織機購入費の一部として
長崎県	ミヤザキテルキシ 宮崎 昭行 氏	40	かつて船大工が多数存在した五島市岐宿町で木造和船製造技術の復活に取組中。氷見市番匠造船にて番匠光昭氏の下に2人が派遣され、伝馬船4隻を製作。R4年、更に1隻製作予定。
	木造和船製作技術		伝馬船建造費の一部として

【ご参考】国指定・国選択重要無形民俗文化財に定められた助成先

令和4年1月に文部科学省(文化庁)が新たに重要無形民俗文化財に指定した4件のうち下記の2件3団体が、当財団がこれまでに行なった助成先から該当いたしました。

保存継承に関わってこられた地元関係者の皆様のお喜びは勿論ですが、当財団にとりましても、今年も引き続き助成先から選ばれた事はたいへん嬉しいニュースです。

区分	決定年月	文化財名称	保存団体	地 域	助成年度
国指定	2022年1月	八王子車人形	西川古柳座	東京都 八王子市	1994年
国指定	2022年1月	箱根の 湯立獅子舞	仙石原神楽保存会	神奈川県 足柄下郡箱根町	1996年
			宮城野獅子舞保存会	神奈川県 足柄下郡箱根町	1997年 2021年

以上

